

2023 年度入学者受入れの方針(AP)に照らした大学入学者選抜の取組の適切性に関する検証

学部学科名 総合福祉学部 福祉行政学科

マイステップ・リエゾンポータル「学びの志ふり返り(学科/研究科専攻の入学者受入れの方針)」のデータを活用して AP に照らした入学者選抜の適切性の検証を行った。学科の入学者受入れの方針については、本学ホームページの「教育方針」(左記 URL 参照)。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/dswa.html>

福祉行政学科では、アドミッション・ポリシーに基づき「学びの志ふり返り」について マイステップの 6 項目を 6 件法によって調査し、それらを 1~6 点に換算して平均値を算出した。これにより、アドミッション・ポリシーにそった学生を選抜できているかを検証した。調査は新入生 116 名に対して 5 月に「福祉行政入門」の講義内で行い、回答者は 100 名、回答率は 86% であった。各項目のスコアは以下である

①学習意欲 平均 **4.6**

全くそう思わない	0%
そう思わない	1%
あまりそう思わない	11%
ややそう思う	33%
そう思う	41%
非常にそう思う	14%

④主体性・協働性 平均 **4.6**

全くそう思わない	0%
そう思わない	2%
あまりそう思わない	10%
ややそう思う	26%
そう思う	46%
非常にそう思う	16%

②地域の発展への貢献 平均 **4.5**

全くそう思わない	0%
そう思わない	5%
あまりそう思わない	14%
ややそう思う	28%
そう思う	31%
非常にそう思う	22%

⑤問題解決力 平均 **4.4**

全くそう思わない	1%
そう思わない	3%
あまりそう思わない	16%
ややそう思う	32%
そう思う	35%
非常にそう思う	13%

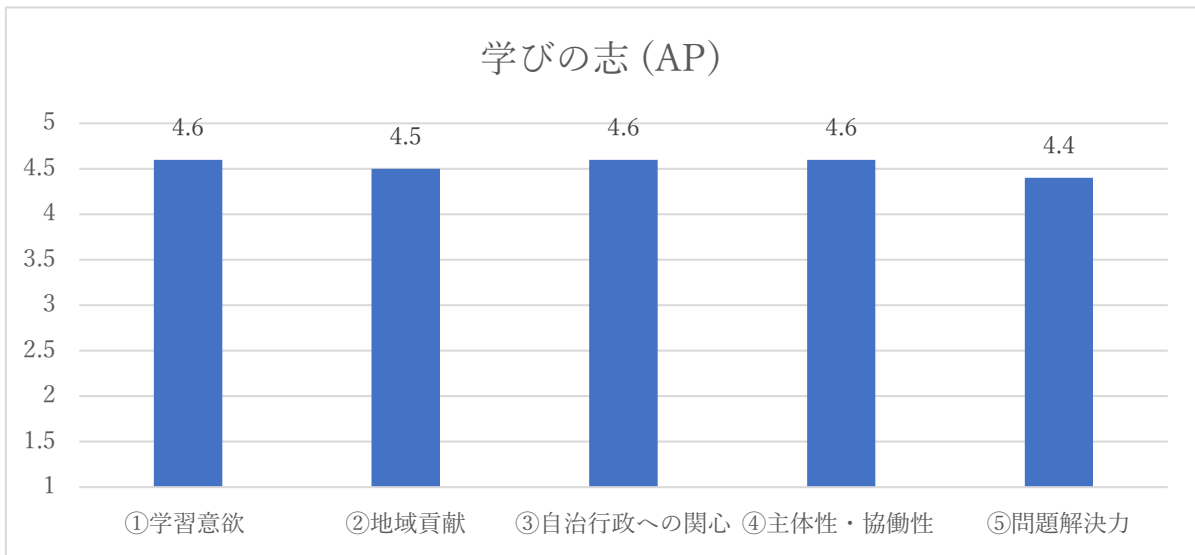
③自治行政への関心 平均 **4.6**

全くそう思わない	0%
そう思わない	2%
あまりそう思わない	12%
ややそう思う	32%
そう思う	36%
非常にそう思う	18%

その結果、5 項目のすべてにおいて平均値は **4.4 以上**と、「ややそう思う(4)」相当の回答が得られた。⑤の問題解決能力は入学後に養っていく分野なため、入学時の学習意欲を測る①②③④⑤においては平均で 4.5 以上の高いスコアを示している。

このことから 2023 年度の入学生においては、アドミッション・ポリシーに基づいた適切な学生の受け入れが実施されていると判断できる。今後は、カリキュラムポリシーをつうじてこうした高い意欲を持つ学生を伸ばしていき、ディプロマポリシーで保証される人材を世に排出で

きるように努めていく。



【自由記述】(主なもの)

- ・入学前から、地域の発展へ貢献したいと強く思っていた考えが、入学後講義を受けていくことで更に地域発展に貢献したいと考えるようになったなと気づいた。
- ・学習意欲は各設問ごとであるけれども、自分のやりたいことの方角性がまだしっかりと決まっていないうということもあって、自分がほんとに学びたいものが不明確なので、自分がどの道
- ・公務員の道に進むのか早めに方向性を明確にし、学習に意欲を持って取り組んでいきたい。
- ・多くの人と交流を持ち、話すことで、自分の知識が増えていくのはわかっているが、話し始めるきっかけを見つけるのが苦手で、ここを社会に出るまでに直しておかないとなと思った。さらに、今はモチベーションを保っているが、行動に移せていないので、どのようにしたら行動に移せるようになるかをしっかりと考えて、このモチベーションを維持していきたい。(目標を早く定めて、そこに向かうために逆算した計画を立てれたらいいなとは思っている)
- ・私が、将来地方公務員になった暁には、「健康診断の義務化」をめざします。私は、去年の夏に母が脳の病気になってしまいました。そこから私は、病気の早期発見をすれば、病気の重症化を防ぐことができる、と思いました。しかしその取り組みを実行するには、たくさんの知識が必要になります。そこで、私はこの4年間を通して将来を背負えるような公務員に成長できるように頑張ります。
- ・福祉の分野への関心がもともとあり、加えて行政分野への興味があり、本学に入学した。様々なスタイルの講義や、これまで全く取り上げられなかったことを議題として考えていく中で、行政分野ではなく、法学や政治学に興味があることを知った。部活動にも取り組んではいるが、現在は勉強することが楽しく、部活ばかりであった高校時代とは大きく異なり、私自身が思い描いたこととは全く異なるような生活を送っている。勉強への楽しさを今後も見出していくと同時に、将来についても考えながら大学生活を送っていききたい。
- ・1年間の大学生活を通して、より一層「福祉」と「行政」の視点から課題解決、社会貢献に取り組みたいと感じる一年になりました。次年度では、社会福祉士過程の学修も始まるので、3年次に向けて自分の目標をより明確に決められる一年にしていきたいと考えました。
- ・福祉や行政についてこの一年間学んできて思ったのが、今後必要になる分野であると感じられた。なので、福祉を用いて地域の生活環境の整え方等を学んでいくことが必要になると感じた。